

令和6年度第5回佐賀市上下水道事業経営審議会 議事録

- ◆ 開催日時
令和7年1月23日(木) 10:00～10:30
- ◆ 開催場所
佐賀市上下水道局5階 大会議室
- ◆ 出席委員（敬称略、五十音順） ※◎は会長、○は副会長
猪八重拓郎、○合六丈晴、古賀醸治、坂井俊彦、◎角田幸太郎、福田忠利、水町良雄、
溝上良雄、吉村純子
- ◆ 欠席委員（敬称略）
池田敦子
- ◆ 事務局
姉川上下水道事業管理者、中島副局長兼水循環部長兼下水プロジェクト推進部長、佐尾
下水プロジェクト推進部副部長、一ノ宮副理事兼総務課長、栗原総務課参事兼副課長兼
企画係長、重永財務課長、北村業務課長、松永水道工務課長、牟田浄水課長、副島浄水
課参事、田中下水道工務課長、江口下水道施設課長、溝口給排水設備課長、野田総務課
主査、廣瀬総務課主査 外
- ◆ 傍聴者
1名
- ◆ 議事
 - 1. 開会
○事務局
(司会による挨拶)
 - 2. 佐賀市上下水道事業管理者あいさつ
○局長
皆様、おはようございます。本日は、ご多忙の中、第5回佐賀市上下水道事業経営審議
会にご出席いただき、誠にありがとうございます。これまで貴重なご意見をいただいでい
ることに対しまして、重ねてお礼を申し上げます。
今回は、意見書の最終確認を行っていただきたいと思っております。どうぞよろしくお

願いたします。

○事務局

それでは、次第3、議事に移りたい。角田会長、よろしくお願いいたします。

3. 議事

○会長

意見書案の確認、並びに意見書の提出について、進めていきたい。

意見書案については、第4回の審議会での意見を反映し修正したものを、先週お送りしており、期日までにご意見等がなかったので、本案を最終的な意見書として提出したいと思うが、よろしいか。

それでは、事務局にお返す。

○事務局

それでは、意見書の提出に移りたい。しばらくお待ちいただきたい。

それでは、会長から上下水道事業管理者に向けて、意見書を提出していただきたい。

○会長

本審議会は、下水道事業の健全経営に向け、今後の建設改良事業や収支の見通しの妥当性を踏まえた、下水道使用料のあり方について、今回、意見を求められた。

審議内容だが、平成22年の下水道使用料改定以降、値上げなく効率的に事業をやってきたことがうかがえるが、人口減少などによる収入の減少や、物価高騰などによる費用の増加により、事業の継続が困難な状況にあることが理解できた。

そこで、上下水道局には、使用料改定シミュレーション案の提示を依頼した。

上下水道局から二つの案が提示され、二つの案とも市民生活に配慮した改定率であるが、将来的な施設の大規模更新の費用は確保できない。

さらに、資金枯渇を一時的に回避する案について、数年後には再び改定が必要になることが見えている。よって、使用料の改定はやむを得ないと考える。

しかしながら、改定率については、市民への影響を配慮しつつ、今後の人口減少や施設の大規模更新も、視野に入れての検討をお願いしたい。

今後も、市民の安全安心のため、継続して経営改善に努め、改定に際しては、市民に対して丁寧な説明をしていただく、ということもあわせて意見させていただく。

なお、水道事業及び工業用水道事業の経営についても、引き続き、継続的に審議をしていく必要があると考える。佐賀市上下水道事業経営審議会会長 角田幸太郎。

○事務局

それでは、佐賀市上下水道事業管理者がご挨拶申し上げます。

○局長

角田会長をはじめ、委員の皆様方には、特に下水道の使用料に関しまして、真摯に熱心な協議をしていただきまして、本当にありがとうございます。

下水道使用料、水道料金は公共料金でございます。市民への影響も大きいものと思っております。慎重な対応も必要でありますし、今後、企業努力も必要になってくるものと思っております。

これまで、委員の皆様には貴重なご意見をいただきました。今日いただいた意見書を十分反映させて、今後の上下水道事業経営の健全化に努めてまいりたいと考えているところでございます。

最後になりますが、委員の皆様方には、今後とも上下水道事業に対するご指導、ご鞭撻をいただくとともに、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○事務局

以上をもちまして、令和6年度 第5回 佐賀市上下水道事業経営審議会を終了いたします。令和6年度の経営審議会につきましては、本日で終了でございます。

来年度の開催につきましては、改めてご案内申し上げたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。